

(別紙)

地域サポート計画(新規就農者向け)

(令和3年4月現在の情報)

都道府県名	沖縄県	市町村名	大宜味村	問合せ 窓口	(組織名) 大宜味村産業振興課 (住所) 沖縄県大宜味村字大兼久157番地	(電話) 0980-44-3232 (メールアドレス) sangyou@vill.ogimi.lg.jp
-------	-----	------	------	-----------	--	---

第1 新規就農者に関する目標及び実績(必須)

(単位:人)

	目標		直近過去実績				備考 (年度の考え方や、補足説明が 必要な事項がある場合は記載)			
	令和3年度		令和2年度		平成31年度			平成30年度		
	うち49歳以下		うち49歳以下		うち49歳以下			うち49歳以下		
新規就農者数(必須)	4	4	7	5	8	6	4	2		
内 訳	新規参入者数	2	2	4	2	6	4	2	1	
	新規自営農業就農者数	2	2	3	3	2	2	2	1	
	新規雇用就農者数	0	0	0	0	0	0	0	0	

注1: 「新規参入者」とは、土地や資金を独自に調達(相続・贈与等により親の農地を譲り受けた場合を除く。)し、当該年度に新たに農業経営を開始した経営の責任者及び共同経営者をいう。
なお、共同経営者とは、夫婦がそろって就農、あるいは複数の新規就農者が法人を新設して共同経営を行っている場合における、経営の責任者の配偶者又はその他の共同経営者をいう。

注2: 「新規自営農業就農者」とは、家族経営体(1世帯(雇用者の有無を問わない)で事業を行う者をいう。なお、農家が法人化した形態である一戸一人法人を含む。)の世帯員で、当該年度に生活の主な状態が、「学生」から「自営農業への従事が主」になった者及び「他に雇われて勤務が主」から「自営農業への従事が主」になった者をいう。

注3: 「新規雇用就農者」とは、当該年度に新たに法人等に常雇い(年間7か月以上)として雇用されることにより、農業に従事することとなった者(外国人研修生及び外国人技能実習生並びに雇用される直前の就業状態が農業従事者であった場合を除く。)をいう。

第2 新規就農者への地域サポート内容

1 地域の紹介等(必須)

就農希望者に向けたサポート宣言	農業経営は他の業種よりも周囲の影響を大きく受けるため、新規就農者には高い経営管理能力が必要です。不転の決意で就農を計画する人のみサポートをします。
地域と農業の紹介文	大宜味村は主にシークワサー等のかんきつ類やマンゴー等の熱帯果樹類を経営する農家が多いです。低地の平たい農地が少ないため大規模の農業は困難です。土地改良区にも農業用水が整備されていない農地がほとんどのため農業用水の確保も自分で行う必要があります。
主な農産物	シークワサー、マンゴー、小菊、大菊、オクラレルカ、フイ、サトウキビ、オクラ、ウコン、養豚、養鶏、酪農、養蜂、
地域が求める新規就農者	地域の行事や、農業者の団体に積極的に参加し、地域の農業のリーダーとなるべく努力する新規就農者のみを支援します。地域に関係を持たないで農業をしようとする人には支援をしません。

2 地域サポート体制(必須)

支援分野	担当機関・部署名	支援分野	担当機関・部署名
技術・経営指導	沖縄県北部農林水産振興センター 農業改良普及課 担い手担当	販路支援	沖縄県北部農林水産振興センター 農業改良普及課 地域特産振興班
農地確保支援	農業委員会 事務局、農業委員、農地利用最適化推進委員	生活に係る支援(住居、子育て等)	住居に関しては企画観光課、子育て等に関しては住民福祉課
機械・施設等の確保支援	大宜味村産業振興課	事務局・全体調整	産業振興課農政係
資金相談	JAおきなわ大宜味支店融資担当	その他(〇〇)	
農業者による指導	農業委員及び農地利用最適化推進委員。指導農業士	その他(〇〇)	

3 新規就農者への支援内容(取り組んでいる支援を記載)

区分	支援項目	支援内容の紹介
就農意欲喚起	就農・移住相談対応、就農相談会の開催	
	就農体験ツアー・インターンシップの実施	
	○ ホームページ、パンフレット等での情報提供	村ホームページ、村広報誌、農業者だより及び区長会による新規就農講座の開催情報提供。
	その他	
就農前の支援	研修の実施(生産技術・農業経営の研修、研修先とのマッチング等)	
	○ 就農計画作成サポート	農業経営改善計画の作成支援
	農地、施設・機械のあっせん、営農資金の相談等	
	販路確保、販路開拓に向けた支援	
	生活に関わる支援(住居のあっせん・手当、研修手当、子育て支援等)	
	その他	

就農後の定着・経営発展に向けた支援	<input type="radio"/>	就農後の生産技術・経営力向上のための指導、研修	担い手協議会主催による農業簿記講座、農業経営講座
	<input type="radio"/>	規模拡大に向けた農地、施設・機械のあっせん、営農資金の相談等	農政係による補助事業の紹介と申請支援及び青年等就農計画や農業経営改善計画の認定申請の支援
	<input type="radio"/>	販路確保、販路開拓に向けた支援	シークワサーについてはシークワサー産地振興協会によるPR活動での紹介等による支援又は北部普及課との連携による支援
	<input type="radio"/>	地元農家や地域住民との交流促進の取組	青年農業者の会に対して村産業まつり等のイベント参加へのあっせん
		生活に関わる支援(住居のあっせん・手当、子育て支援等)	
		その他	

注：地域で実施している支援について、「支援項目」欄の該当項目に○を付け、取組の詳細や新規就農者にアピールしたい内容を「支援内容の紹介」欄に記入

4 就農までの流れ(必須)

就農相談	就農準備段階	就農
村担当者の面談による新規就農に向けた課題の把握	新規就農講座への受講による就農するための知識の習得	農業簿記講座や農業経営講座の受講による農業経営力の向上によって、就農定着を図る。

5 経営開始5年目の農業経営の目標・農業経営モデル

(1) 経営開始5年目の目標(主たる従事者1人当たり)(必須)

年間所得	175 万円	年間労働時間	2,000 時間
------	--------	--------	----------

(2) 経営開始5年目の目標となる農業経営モデル(必須)

営農類型	品目	経営規模(a、頭数等)	収量	収支	労働力	主たる従事者1人当たり労働時間	備考
施設野菜	ゴーヤー(2期作)	20 a	2.6 t/10a	売上 312 万円	専従 1 人	2,000 h/年	
				経費 129 万円	パート 1 人		
				所得 183 万円			
主な施設・機械等	ビニールハウス	10 棟	管理機	1 台		台	
		式		台		台	
		台		台		台	

注: 必要に応じて適宜行を追加して記入してください。

(3) その他情報(任意、自由記載)

注: 必要に応じて適宜行を追加して記入してください。

別添: 交付対象者のサポート体制

交付対象者のサポート体制

部門	氏名又は職名
経営・技術・営農資金	沖縄県北部農林水産振興センター 農業改良普及課 担い手担当
経営・技術	沖縄県指導農業士
経営・技術	沖縄県指導農業士
農地	大宜味村農業委員会 事務局
農地	大宜味村農業委員会 農業委員
農地	大宜味村農業委員会 農地利用最適化推進委員
営農資金	JAおきなわ大宜味支店融資担当

※部門欄には、「経営・技術」、「農地」、「営農資金」のいずれかを記入する。